

都市部からやってきてさまざまな地域おこし活動を行う「地域おこし協力隊」と地域コミュニティ協議会の設立や協議会の活性化を支援する「地域支援員」が毎回交代でそれぞれの活動をレポートしていきます！



地域支援員 堀 竜二

「温故知新」の地域づくりを目指して

地域支援員として主に有明地区を担当しております。コミュニティ協議会では、設立時に策定した「まちづくり計画」を、3年ごとに見直すことになっています。現在、対象の協議会長と「まちづくり計画」に地域住民の意見を反映する方法などについて協議をしています。

コミュニティ協議会設立後の地域づくりは決して平坦な道ではありませんが、各協議会において活発に活動が展開されており、コロナ禍前の賑わいが少しずつ戻ってきているようです。

10月13日に開催された第116回伊崎田相撲大会は明治時代から続いております。

また、11月24日に開催されたふつはらまつりでは、約350年前から伝わる神舞が奉納されました。



▲伊崎田相撲大会

このように、各地域で伝統文化の継承がなされており、ご尽力されている関係者の皆さまには心から敬意を表します。

一方、有明校区においては中学生へのアンケート結果から始まった、中学生が自ら企画・運営する有明こどもまつりが8月10日に開催され、多くの親子連れなどで賑わいました。

今後も、各地域において、伝統文化を継承しながら新しさを加える「温故知新」の地域づくりが活性化することを期待しています。



▲ふつはらまつりの神舞



▲有明こどもまつりの様子

図書館へ行こう。

一冊の本との出会いがあなたの人生を変える

開館時間 平日9時～19時（土日・祝日は18時まで）

■問い合わせ先：志布志市立図書館 Tel. 472-3322

図書館からのお知らせ（※日程・内容変更の場合あり）

◆2025年NHK大河ドラマ「べらぼう」コーナー設置  
図書館入口のテーマ図書コーナーにて、篤生 重三郎や浮世絵をはじめとする江戸文化に関する本を展示いたしますので是非ご覧ください。

- おはなし会（志ふれあい交流館）10時30分～  
【1月】11日（土）かみふうせん、26日（日）【2月】1日（土）
- アニメ上映会（志ふれあい交流館）14時30分～  
【1月】19日（日）【2月】2日（日）

◆おすすめの新刊



「坂の中のまち」  
中島 京子 / 著 文藝春秋  
江戸川乱歩「D坂の殺人事件」の別解(!?)、安部公房「靉」を再現する男との邂逅、夏目漱石「こころ」みたいな三角関係…。風変わりな人たちと、書物がいるどるガールミーツ幽霊譚。「オール讀物」掲載を単行本化。

【一般】

「もの想う時、ものを書く」 山田 詠美 / 著 中央公論新社  
「掣」 寺地 はるな / 著 NHK出版

【児童】

「ぼくたちは宇宙のなかで」 カチャ・ペーレン / 作  
こだまともこ / 訳 評論社  
「トッケビ梅雨時商店街」 ユ・ヨングアン / 著  
岩井 理子 / 訳 静山社

●休館日

【1月】14日（火）、15日（水）、20日（月）、27日（月）  
【2月】3日（月）、10日（月）、17日（月）、19日（水）、25日（火）

◆しぶし電子図書館【今月の作品紹介】



「しぶし電子図書館」へアクセスしてみよう！  
朝読書などに最適な「読み放題」の児童書や、読み上げ機能が付いた絵本などもあります。幅広いジャンルの「雑誌読み放題サービス」も展開中！



地域おこし協力隊 村山 剛

志布志市農業サポートセンターでは、新規就農者や規模拡大を目指す生産者へ、市内の使用しない農業用施設・農機具・農業用資材などの情報を提供する「志布志市農業用資産バンク」を始めます。

現在、使用しない農業用資産の情報を募集しております。本年度中には情報を提供できる予定となっております。

情報提供につきましては、下記の問い合わせ先にご連絡いただくか、直接窓口までお越しください。

また、農業に関するご相談など、いつでも受け付けておりますので、お気軽にお尋ねください。

■問い合わせ先：

農政畜産課  
志布志市農業サポートセンター  
Tel. 474-1111



▲農業サポートセンターHPはこちら



地域おこし協力隊 藤原 玲二

これからの志布志をみんなで考えるイベント「How is Shibushi?」の2回目が、11月30日に大慈寺で開催されました。今回お誘いを受けて、プレゼンターとして「志布志に映画館を作りたい!」という思いを発表してきました。

他の方の発表も、志布志にトレイルランのコースの整備や、中学生が学校終わりに立ち寄れる居場所づくりなど、いろんな角度からの志布志のこれからが垣間見られました。

空き家バンクも新規物件が増えてきております。ご相談やお問い合わせは、下記までどうぞ。

■問い合わせ先：

志布志市移住・交流支援センター エスプラネード  
Tel. 099-401-0405



▲空き家バンクについてはこちら

文芸

さつま狂句（有明町さつま狂句同好会）

招待言てん 諭吉つ包まにや 行つ難くし 片野美秀  
 (評) 招待言を受けたが、手ぶらで行けない。酒など御馳走になるので諭吉(田1万田札)を袋に入れてお返しと差し出すことした。下5の(行つ難くし)が効いている。  
 稀けんな 蟬ば冬い鳴ちよい 勝手耳 中本寛美  
 (評) 疲れたときとか、歳をとるにつれて聴能と鳴る勝手耳です。酷いときは病院へ行きます。中7の(蟬ば冬い鳴ちよい)が効いている。  
 都合悪い事ちやつ忘れ 平然ったん 平田光夫  
 (評) 都合が悪い事は忘れたとか、当たり障りの無い返事をする習慣が身に付くものです。賢いです。下5の(平然ったん)が効いている。  
 招待し遅せ人 生焼酎で三杯 さいと注つ 小蓬原忠則  
 (評) 招待をしたのに遅く来た。仕事であれば仕方無い。座元が生焼酎をコップに満たんに注いで乾杯させて、お代わりも一杯。服付け三杯の見本である。これで定時に来た人と一緒になった。中7の(生焼酎で三杯)が効いている。  
 幸運い恵つ 門松ちも沢山 御酒を撒つ 畑山敏昭  
 (評) 幸運に恵まれて良い事があったので、さつまなる幸運を祈念して、門松にもお神酒を撒いた。中7の(門松ちも沢山)が効いている。